

1月のコラム ～年賀状によせて～

お正月らしさや季節の風物詩は、時代の流れと共に変化していきますが、一年の始まりの節目としての新年は、清々しい気持ちで迎えられたことと思います。

さて、お正月といえば年賀状。あなたは、面倒だなんて思いませんか？ それとも好きですか？ 元旦に届くように準備できない年も多い私が言うのも恐縮ですが、私は好きです。

年賀状だけの付き合いでも、年に一度の情報交換は、私にとっては、とても楽しみなことです。中学、高校、短大時代の友人、社会人になった私を迎え育てて下さった会社の先輩、同期。そして、数多くの転職をしたおかげで仕事関係でもたくさんの人に出会いました。

「結婚した」「子どもが生まれた」「子どもが就職した」「孫ができた」「〇〇を始めた」「昨年はこんなことがあった」「今こんなことに打ち込んでいる」。時の経過と共にその人の人生と今を知ることができる。同時に人との付き合いは、自分の歴史でもある。年に一度のたった一枚のハガキですと繋がってられるって、本当に素晴らしい風習だと思うのです。

近況報告と合わせて嬉しいのは、私を勇気づけてくれる言葉。ご紹介するのは憚られますが、「かほるさんの笑顔で元気になります」「いいお話をありがとう」そんな言葉を拝見するととてもうれしくなって、「よし！頑張ろうって」気になれるのです。

そして、今年の目標にしようと思った年賀状は、やはり人生について学ばせていただいた先生から頂いたものでした。

赤富士のイラストに「気高く 美しく 唯一無二の 富士の山」そして、「あなたはあなただからこそ素晴らしい。今年も水田さんらしく気高く美しく唯一無二の人であってくださいね。」とのメッセージ。「気高く美しく」は高すぎる目標としても、やはり自分らしくあることが、今の私に、自信と力をくれるように思います。

そして、こんな風にその時々その人を勇気づけるそんな言葉をかけられる人になりたいと思います。

2018年1月 水田かほる